

討 論

質 疑

政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について（議発第2号）

提出議員 又吉 貢 賛成議員 山城良一 仲田 豊 大城 堅三 外間勝嘉 山田政幸 大城 保 喜納正誠 佐渡山 明

去る9月23日、第8回9月定例会において、新型コロナウイルス感染症対策に係る特例措置として、議発第2号、恩納村議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例が提案されました。

（改正内容） 令和2年10月から令和3年3月までの分の政務活動費を交付しないものとする。
（提案理由） 新型コロナウイルス感染症の更なる感染拡大防止に取り組むため、村三役の大防止対策に不支給分を充ててもらうため。

（質疑）糸数 昭

政務活動費の出来た理由をご存じですか。

（答弁）又吉 貢

政務活動費は、議員が活動をするための資金、住民の意見を聴くとか自分の意見を住民に知らせる、それにかかる経費、公聴会等いろんなものがあり、その中に村民福祉に寄与することもあって、そこを一番重要と思いついて提案しています。

（質疑）糸数 昭

これは地方分権一括法の施行により、地方議会が補う役割はますます重要になっていって、議会の活性化と審議機能の強化を図る目的です。これがなくなれば、この半年間は自粛してくれとなる。皆さんはどう考えているのか。

（答弁）又吉 貢

これはあくまで私の考えで、村三役も給与をカットして頑張っていますので、議会もそれに寄り添って、村民の福祉のためにやって行こうと提案しています。

（質疑）糸数 昭

政務活動費は公費です。公費を変えたいのは何か。自分たちの報酬からやめた方が皆さんからは喜ばれると思うか。

いる方々もおられますが、今回は特別で、コロナで予算も大分削減されている中で、ぜひ村議会も何か一つ出来ないかという思いです。

（反対討論）安里周作

政務活動費というのは、企業が経営活動として運営費として使っています。それを断ち切ると議員活動を窮屈にしてみよう。目的の中に、調査活動基盤の充実強化を図る観点から、地方自治によって政務活動費の交付が設けられている。政務活動費をカットする事は活動も自粛しないといけない。どうしても必要なので反対します。

（賛成討論）大城堅三

色々な意見がございます。臨時議会で話した世界規模で国民生活や色々な部分で影響しており終息が見えない。また第三波も危惧され当局も日々色々な対策で必死にやっています。そういった中で色々な政務活動の趣旨、目的もあります。副議長が言われた村政に反映させる活動、その他住民福祉の向上に寄与する事を目的とする事も謳われております。我々も少し協力できる立場から賛成とします。

（反対討論）吉山 盛次郎

よく執行部と議会は両輪と言うが、議会のやることは政策の監視と

（答弁）又吉 貢

私は報酬をカットするのではなく、政務活動費をまずカットして、これ以上悪化するようであれば、報酬のカットもやむを得ないと思っています。

（質疑）吉山 盛次郎

政務活動費に関しては、大変議論を重ねて現場踏査で与那原町で事情聴取して積み上げてきて成り立った。この政務活動費は、町村の施政に関する監視と政策提言を行い、資料などの購入もする。我々が返上した政務活動費6ヶ月分は何に充当するか何う。

（答弁）又吉 貢

金額的には80万から90万だと思っ。感染防止対策として役場で考えてほしい。

（質疑）吉山 盛次郎

地方自治体においては、事業の見直し、事務の効率化、財源の確保に奔走している記事もあり、我々が村に対して提言しないといけない。政務活動費を返上するのはいいか。村民に寄り添うのであれば、我々の報酬からそういう提案をしてほしい。政務活動費はまさに我々の命です。このことに関してどういう風に政務活動費をとらえているか。

（答弁）又吉 貢

政策提言なんです。政務活動費を奪われたら我々は何も出来ない状況になります。政務活動費を有効に使っている議員もいる中、個人の物として捉えて提案するのは方向性を間違えていると思う。先ほどから賛成議員が福祉と言っているが、我々の向き方は住民とどう向き合うかです。それを活かした提言が議員の主たる役目です。

（賛成討論）仲田 豊

政務活動費に対して議論したけど、今はコロナ禍という期間で第二波第三波も続くか分かりません。政務活動費は税金で賄われていますから、村民と一緒に痛みを分かち合うのが当然だと思う。政務調査費がないから議会活動が出来ないことはない。自分は自腹を切っても出来ません。

（反対討論）島袋裕介

政務活動費は議員の調査、研究、研修、広報活動など村政に反映させる目的で、議員一人一人に対して交付されるものです。活動費を使用する議員と公平とは言えず納得できない。議会も報酬を減額したほうが、村民に分かりやすいと思いい反対します。

（賛成討論）喜納正誠

提案理由はコロナ対策で議員自

私としては村民に寄り添い、直ぐ出来る事を考えた結果で、村民のコロナ対策にぜひ活用してもらいたいと思います。

（質疑）吉山 盛次郎

これは時限ですよ。もう2、3年続くと言われている。来年度の予算その辺の部分、政務活動費の返納とか報酬の削減も考えているか。

（答弁）又吉 貢

来年の2月、3月に状態が悪化すれば、報酬の削減あるいは政務活動費の削減の思いはある。

（質疑）宮崎 豊

臨時議会の全協の中で、又吉副議長が、一人でも反対者が居たら通らないと言っていて、あえてなんでここの出したか。

（答弁）又吉 貢

コロナ対策特別委員会、一人でも反対者が居れば委員会としては取り上げない思いがあったので、今回本会議場でも出しました。

（質疑）宮崎 豊

これがいかに大事かという議員もいます。特に一期目の方は有効に使おうとやっている。その気持ちをどう思うか。

（答弁）又吉 貢

私は交付請求はしていません。確かにそれを使って一生懸命やって

ら政務活動費を削減する。それを村民の方に予算を回し、未曾有の時期を乗り越えて頂く事であり、コロナで多くの村民が苦勞されている中、痛みを分かち合うという事です。で賛成です。

（反対討論）宮崎 豊

私は三月定例会でコロナ対策を早めにする事をお願いし、近隣市町村に先駆けて、商工会を窓口にしたスタートしました。その後第二波第三波と続き、多方面に支援策が実施され村事業で二億三千万円、国事業含めて五億円以上の事業が実施されました。国内でも有数の観光地恩納村を、アピールするためにも政務活動費は必要です。

（賛成討論）山城良一

政務活動費について私は率先して提案したもので、皆さんの意見は十分承知している。三名の方が報酬をカットすればいいとの意見もありました。そうであれば自ら提案すれば、そういうことはなかったと思う。村民と痛み分けをする気持ちで、この予算が村民に有効にコロナ対策に使われるように期待します。

採決の結果、賛成議員9名、反対6名により原案のとおり可決された。